



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,495	—	1,310	—	1,382	—	1,018	—
2021年3月期第3四半期	11,628	△18.1	6	△99.4	△20	—	△113	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,619百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △192百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	73.30	—
2021年3月期第3四半期	△8.15	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	31,316	25,099	80.1
2021年3月期	27,518	23,667	86.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 25,099百万円 2021年3月期 23,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	7.50	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	16.50	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	—	1,650	—	1,680	—	1,100	—	79.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期の連結業績予想に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	14,310,000株	2021年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	409,732株	2021年3月期	409,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	13,900,286株	2021年3月期3Q	13,900,308株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況 (製品別売上高、国内・海外別売上高)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

このため、当第3四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、売上高については前第3四半期連結累計期間と比較しての増減額及び前年同期比（%）を記載せずに説明しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、総じてコロナ危機による落ち込みから回復基調を維持していますが、資源価格の上昇や供給制約により景気の回復ペースがやや鈍化しています。一方、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の増減に合わせ、経済活動の制限と緩和を繰り返しつつ、原材料・部品不足や物流混乱などサプライチェーンの混乱も収束せず、製造業全体の景況感回復は足踏みしています。また、足元では新たな変異株の感染拡大により、先行きへの不安や不透明感は依然残ったままです。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の販売拡大により前年同期を上回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加しました。また、海外での売上も、米国およびアジア向けを中心に増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は144億9千5百万円（前年同期は116億2千8百万円）となりました。

利益面につきましては、大幅な増収による売上原価率の改善と昨年に引き続き経費削減に努めたことなどから、営業利益は13億1千万円（前年同期は6百万円）となりました。営業外収益として為替差益を4千3百万円計上したことから、経常利益は13億8千2百万円（前年同期は2千万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億1千8百万円（前年同期は1億1千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに増加し、海外向けでは自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は120億7千5百万円（前年同期は89億8千6百万円）、営業利益は7億6百万円（前年同期は3億1千1百万円の営業損失）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物が増加したことから、売上高は23億1千5百万円（前年同期は18億6千6百万円）、営業利益は2億2千3百万円（前年同期は1億3千4百万円）となりました。

③ 米国

自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は11億1千4百万円（前年同期は7億8千5百万円）、営業利益は7千8百万円（前年同期は4千5百万円）となりました。

④ 欧州

自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は15億9千2百万円（前年同期は12億7千7百万円）、営業利益は1億6千6百万円（前年同期は1億2百万円）となりました。

⑤ 中国

木工関連刃物および紙工関連刃物が増加したことから、売上高は14億9千万円（前年同期は11億2百万円）、営業利益は8千3百万円（前年同期は2千2百万円の営業損失）となりました。

⑥ ベトナム

自動車関連刃物および鋼管関連刃物などが増加したことから、売上高は4億1千6百万円（前年同期は1億6千8百万円）、営業利益は3千万円（前年同期は8千3百万円の営業損失）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期末における流動資産は178億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ39億4千9百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が28億3千2百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億5千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は134億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が2億1千万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は313億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億9千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期末における流動負債は43億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2千8百万円増加いたしました。これは主に流動負債その他が7億円増加し、支払手形及び買掛金が5億5千2百万円増加したことによるものであります。固定負債は18億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億3千8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は62億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億6千7百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期末における純資産合計は250億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億3千1百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.1%（前連結会計年度末は86.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年8月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高187億円、営業利益16億5千万円、経常利益16億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円を見込んでおります。

なお、通期の業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル=110円、1ユーロ=131円を想定しています。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,923,103	7,755,900
受取手形及び売掛金	3,232,821	3,690,767
電子記録債権	856,347	985,286
商品及び製品	2,215,966	2,381,834
仕掛品	880,874	1,067,780
原材料及び貯蔵品	1,385,164	1,628,057
その他	422,157	358,405
貸倒引当金	△15,146	△17,345
流動資産合計	13,901,289	17,850,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,297,596	4,174,420
機械装置及び運搬具(純額)	4,968,156	4,539,843
その他(純額)	2,641,049	2,982,309
有形固定資産合計	11,906,802	11,696,573
無形固定資産	784,731	791,959
投資その他の資産	925,218	977,660
固定資産合計	13,616,752	13,466,193
資産合計	27,518,042	31,316,882

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,327,090	1,879,299
電子記録債務	221,118	344,443
未払法人税等	104,671	278,064
賞与引当金	357,818	137,017
その他	1,034,744	1,734,787
流動負債合計	3,045,442	4,373,612
固定負債		
長期借入金	—	1,035,180
退職給付に係る負債	274,713	320,277
その他	530,134	488,240
固定負債合計	804,848	1,843,697
負債合計	3,850,290	6,217,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	19,451,992	20,283,215
自己株式	△208,743	△208,768
株主資本合計	23,553,639	24,384,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311,924	311,198
為替換算調整勘定	△159,323	434,895
退職給付に係る調整累計額	△38,488	△31,359
その他の包括利益累計額合計	114,112	714,734
純資産合計	23,667,751	25,099,571
負債純資産合計	27,518,042	31,316,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	11,628,761	14,495,724
売上原価	8,510,854	9,805,262
売上総利益	3,117,906	4,690,462
販売費及び一般管理費	3,111,165	3,380,122
営業利益	6,741	1,310,339
営業外収益		
受取利息	2,287	5,849
受取配当金	14,067	15,249
為替差益	—	43,024
助成金収入	154,291	—
その他	11,744	17,977
営業外収益合計	182,389	82,100
営業外費用		
支払利息	3,637	3,627
売上割引	30,035	—
為替差損	174,386	—
デリバティブ評価損	485	5,238
その他	1,096	1,528
営業外費用合計	209,641	10,393
経常利益又は経常損失(△)	△20,511	1,382,046
特別利益		
固定資産売却益	508	1,219
投資有価証券売却益	139,387	—
特別利益合計	139,896	1,219
特別損失		
固定資産売却損	130	217
固定資産除却損	2,487	1,403
特別損失合計	2,617	1,621
税金等調整前四半期純利益	116,767	1,381,644
法人税等	230,069	362,768
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,302	1,018,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△113,302	1,018,876

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,302	1,018,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,157	△725
為替換算調整勘定	△176,754	594,218
退職給付に係る調整額	20,976	7,129
その他の包括利益合計	△79,620	600,622
四半期包括利益	△192,923	1,619,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,923	1,619,499
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、顧客に支払われる対価の一部を販売手数料として販売費及び一般管理費に、売上割引として営業外費用に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は63,920千円減少し、営業利益は31,888千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
外部顧客への売上高	7,203,785	1,217,901	785,811	1,277,045	603,817	88,945	11,177,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,782,449	648,124	25	—	499,000	79,642	3,009,242
計	8,986,235	1,866,025	785,837	1,277,045	1,102,817	168,587	14,186,548
セグメント利益又は損失(△)	△311,219	134,015	45,770	102,030	△22,851	△83,076	△135,329

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	451,455	11,628,761	—	11,628,761
セグメント間の内部売上高又は振替高	135	3,009,377	△3,009,377	—
計	451,590	14,638,139	△3,009,377	11,628,761
セグメント利益又は損失(△)	25,168	△110,160	116,901	6,741

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額116,901千円には、セグメント間取引消去3,615千円、棚卸資産の調整額114,613千円、その他△1,327千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
平刃類	3,074,176	1,533,223	217,526	414,450	330,181	21,145	5,590,703
精密刃具類	2,753,033	123,377	49,897	42,942	44,545	8,938	3,022,735
丸鋸類	5,666,122	591,124	825,715	1,133,832	1,104,817	385,387	9,706,999
商品他	581,734	67,504	21,059	1,760	10,714	604	683,377
顧客との契約から生じる収益	12,075,067	2,315,230	1,114,199	1,592,985	1,490,257	416,075	19,003,816
外部顧客への売上高	8,655,102	1,481,697	1,114,134	1,592,985	719,099	115,636	13,678,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,419,965	833,532	65	—	771,158	300,439	5,325,160
計	12,075,067	2,315,230	1,114,199	1,592,985	1,490,257	416,075	19,003,816
セグメント利益	706,021	223,631	78,316	166,890	83,609	30,336	1,288,805

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	93,988	5,684,692	△1,110,373	4,574,319
精密刃具類	34,096	3,056,832	△173,882	2,882,950
丸鋸類	672,721	10,379,720	△3,537,310	6,842,410
商品他	18,001	701,379	△505,335	196,044
顧客との契約から生じる収益	818,808	19,822,625	△5,326,900	14,495,724
外部顧客への売上高	817,068	14,495,724	—	14,495,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,740	5,326,900	△5,326,900	—
計	818,808	19,822,625	△5,326,900	14,495,724
セグメント利益	92,557	1,381,363	△71,023	1,310,339

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△71,023千円には、セグメント間取引消去82,726千円、棚卸資産の調整額△144,411千円、その他△9,338千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第3四半期実績		当第3四半期実績		2022年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
平 刃 類	3,757	32.3	4,574	31.5	5,890	31.3
精 密 刃 具 類	2,545	21.9	2,882	19.9	3,760	20.1
丸 鋸 類	5,148	44.3	6,842	47.2	8,830	47.2
商 品	177	1.5	196	1.4	220	1.4
合 計	11,628	100.0	14,495	100.0	18,700	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第3四半期実績		当第3四半期実績		2022年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
国 内	6,609	56.8	7,648	52.8	9,700	51.9
海 外	5,019	43.2	6,846	47.2	9,000	48.1
ア ジ ア	2,392	20.6	3,241	22.4	4,260	22.8
ア メ リ カ	1,177	10.1	1,732	11.9	2,110	11.3
ヨ ー ロ ッ パ	1,368	11.8	1,758	12.1	2,490	13.3
そ の 他	80	0.7	114	0.8	140	0.7
合 計	11,628	100.0	14,495	100.0	18,700	100.0